



「魅せ鉄」の心で活動

日本鉄道保存協会総会

小坂での取り組み報告

「日本鉄道保存協会」
(東京都)は21、22の
両日、小坂町の交流セ

ンター・セパームで、
今年度の総会・見学会
を行った。会員ら65人
が出席し、同町の体験
型観光施設「小坂鉄道
レールパーク」の取り
組みについて理解を深
めた。

毎年全国各地で行わ
れ、今回は小坂町での
取り組みが注目され開
催地となった。

初日は同町町史編纂
室の亀沢修室長が基
調講演し、旧小坂鉄道

の歴史などを話した。

その後レールパーク
を担うボランティア団
体「小坂鉄道保存会」
の千葉裕之会長が活動
内容を紹介。千葉会長
は、廃線後の車両や史
料の保存と、それらを
生かしたレールパーク
を構築するまでの流れ
を説明。「町のイベン
トと連携し、「魅せ鉄」
の心で活動している」
と述べ、会場の関心を
集めた。

続いて「近代化遺産
としての鉄道を活かし
たまちづくりと観光」
と題したシンポジウム
が行われ、パネリスト
として新津鉄道資料館
(新潟市)の水沢喜代
志副館長や、東武博物
館(東京都)の花上嘉
成名館長らが意見を
交換した。

また2日目は、出席
者らが小坂鉄道レール
パークなど関連施設を
見学した。【田村彦志】